

箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
箕面ユネスコ協会事務局
〒562-0013 箕面市坊島 4-5-20
みのおキューズモール2Fみのお市民活動
センター内 箕面ユネスコ協会(メールボックス)
E-mail sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp



♪箕面ユネスコ協会の活動を
載せています
『箕面ユネスコ協会』
で検索してください♥

♪日本ユネスコ協会連盟から
毎月、最新情報が掲載されます
『ユネスコ協会便 8月号』
で検索してください♥

箕面ユネスコ協会 & 蓮田・白岡地方ユネスコ協会 石川県珠洲市へ

ユースによる被災地の復興を支えるボランティア活動



2025年6月28日(土)6月29日(日)、箕面ユネスコ協会と埼玉県にある蓮田・白岡地方ユネスコ協会のユースによる被災地支援活動が行われました。2024年1月1日16時10分に発生した能登半島地震、震中では鳳珠郡穴水町の北東42kmの珠洲市内。内陸部で発生する地震としては日本でも稀な大きさの地震でした。さらに、9月の豪雨により、2度にわたる甚大な被害を受けた能登の支援をしたいというユースメンバーが、協会の枠を超え、力を合わせて珠洲市にて支援活動を行いました。活動は、被災した民家の周りの泥掻きや家や納屋の片づけ、家財の運び出し作業等でした。

…学びや気づき…

★★昨年の10月に珠洲でボランティアを行って以来、約8か月ぶりに訪れました。体感としてはそこまで景色は変わっていなかったように思います。電信柱は曲がったままで、大きな地割れはそのまま残っていました。ただ、前に訪れたときは住民の姿をほとんど見る機会がありませんでしたが、今回は登校する学生やあみだ湯にいたおばあちゃんたちなど地元の人を目にする機会が以前より多くあり、少し珠洲に活気が出たような気がしました。それに合わせてボランティアのかたちも力仕事や炊き出しといった仕事から変化していくのだろうかと考えていたとき、YNFを訪れて行政手続きの補助として建築士や弁護士が被災者に必要とされていることを初めて知りました。今までは学生だったため、職業や専門性を活かして被災地支援を行うということをあまり考えたことが無かったので驚きました。きっと被災地支援と親和性が高い職業や専門的な知識は他にもあると思いますが、それを持っている人がそのことに気づいている可能性は低いような気がします。もっと災害に興味を持つ人を増やすためにも、私たちが珠洲で得た経験を様々な人に伝えていくことの重要性を再確認しました。これからも、「伝える」ということを続けながら、私自身も専門性を磨いていこうと思います。

(ユース代表 川本 実弥)

★★私は、初めて参加させていただきました。初めてのことが多すぎて戸惑いが多かったですが、色々な人と関わって交流出来て仲良くなれて良かったと感じた2日間でした。テレビで去年能登地震があったことを報道されていて衝撃を受けました。もう、あまり能登のことを報道されなくなって自分の中でもう復興は終わりがけなんだと自分の中で勝手に思っていました。ですが、直接行ってみたらまだ全然でした。大きく見たら復興しては思いましたが、一つ一つ見たらそうじゃないだ！と強く感じました。心の中で、もう大丈夫なんだと思った自分に後悔しました。今回のボランティア活動で復興に少しでも関われて嬉しかったし良かったと感じました。今回参加したからこそ、また機会があったら参加して完全に復興するまでお手伝いをしたいと感じました。

(高校1年 野口 渚紗)

～蓮田・白岡地方ユネスコ協会から ユースのみなさんの声が届きました～

蓮田・白岡地方ユネスコ協会「U-スイミー」(ユース 6 名・引率 2 名)



■被災された方の話を聞く中で、継続的な支援の大切さと体験したことを自分の言葉で伝え、風化させないようにするという自分なりの役割を見つけることが出来た為、今後も被災地復興支援に参加していきたいと思う。(社会人 江原万菜)

■この場所で活動ができたことが自分の人生にとって大きな財産となりました。参加したことに、より意義を見出す為にも私が今後やるべきことは、この現実と活動について発信し知ってもらうことだと確信しています。「誰かの記憶は誰かの明日に繋がる」と

いう言葉を信じ、このボランティア活動を継続していきたいと思います。

(大学 3 年 青野光羽)

■メディアではあまり取り上げられなくなり、支援の風化を感じていましたが、実際に自分の目で見て復興はまだまだ先だと実感しました。倒壊した家や残る瓦礫、割れた道路…。これからも関心を持ち続け、私にできることは「伝えること」。見たこと、感じたことを周りの人に伝え、支援を続けていきたいです。(大学 3 年 江原美鈴)

■初めての災害ボランティアを経験し、私たちが行った小さな活動に対して被災されたお宅の方が感謝の気持ちを何度も言うてくださり、お別れの際にバスが角を曲がるまで手を振り続けてくださったことが忘れられません。ボランティアひとりひとりの小さな力が合わさって大きな力になることを実感しました。また被災地へ行って活動したいです。

(大学 2 年 内山小桜)

■被災地を間近で見るのは初めてで、崩れた家やブルーシートで補強してある家、補修された道路などを見て正直困惑しました。少しでも復興の役に立ちたいと思い、2 日間ボランティアに参加させていただきました。このような機会をもらえたことにとても感謝しております。

(大学 2 年 森岡美帆)

■テレビであまり放送されていない為、ほとんど復興していると思っていたが、ブルーシートが貼ってある家や仮設住宅、瓦礫などが多くありおどろいた。知ったからには伝える義務があると思う。震災は、いつ、どこで、起こるかわからない「知ること」「伝えること」「備えること」が、未来の命を守る力になると思う。(高校 1 年 初谷珠弥)

■全部が有意義だった。YNF 江崎さんのお話から、活動に取り掛かる心構えができた。現地の方の話から深く現状を知り、見る事ができた。さらに箕面ユネスコ協会の方との交流ができたこともよかった。能登の状況が風化されないように、身近な人に現状を伝えていきたい。

(理事 内山 尚子)

■ユースと共にボランティア参加させていただきましたこと、感謝いたします。この貴重な体験から、若い人たちが被災地の問題・課題に気づき、交流を通じ活動できたことはとても有意義な時間でした。実際に自分の目で見聞きし、知ること、そして行動…。正確な情報をスピーディに発信し支援を続けることが重要ということ学びました。ユネスコ協会連合体として、これからも学ばせて頂き共に活動していきたいと思っています。

(副会長 江原泰子)



★★★

地域を超えたユースによる被災地復興支援活動を箕面ユネスコ協会メンバーに現地で支えて頂きました。応援ありがとうございました。 鹿児島から駆け付けて頂いた辻田夫妻や会長代行の花田さん、栢木事務局長、新メンバーの今田さんへ心より感謝いたします。

蓮田・白岡地方ユネスコ協会会長 田村勝彦様からのお手紙

いつも大変お世話になっております。また、この度は、当協会・江原をはじめ学生会員も多数お世話になりました。お陰様で、石川県・能登復興ボランティアの訪問、昨夜全員・無事帰宅の報告を貰いました。

此の間、参加者は一様に、坂口会長様はじめ箕面ユネスコ協会の皆様・ご関係者様に暖かく接して戴き適切なるご指導賜りましたこと大変に有難かったと・・感謝の言葉が続きました。初めての被災地訪問者も多かったのですが、人生に於いて得難い、貴重な経験が出来たことに喜びと充実感を持って帰ることが出来たようでございます。これも偏に坂口会長様・箕面ユネスコ協会皆様のご支援無ければできないこととございました。また、被災地の方々のお気持ちの一端にも触れることも出来、継続する大切さも学んだようでございます。心からの感謝を申し上げます。誠に有難うございました。

今後も願わくば、引続きのご指導賜りますようお願い申し上げます。最後に、皆様、酷暑に向かう折柄、ご自愛のうえ、ご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。



● 「U-Smile 活動報告」 2025 年度夏の体験旅行 in 那須

子どもたちの夏休みを豊かにすることを目的にした体験旅行に行きました！

日程：8月4日（月）～6日（水） 訪問地；栃木県那須塩原・日光 周辺

日本ユネスコ協会連盟が行なっているU-Smileプログラムの体験旅行として「2025年夏 那須体験旅行」が開催され、箕面ユネスコ協会からも子どもたちが参加しました。旅行の目的は、夏休みの思い出として思い切り楽しみ視野を広げる、団体旅行という社会体験・望ましい生活習慣の体験をする、同世代の他者と関わることの楽しさや一緒にやりとげることでの達成感を感じる、自然や歴史に触れる経験さまざまな大人との出会いを通して自分の好きなもの・ことを見つける場となつてほしい、ということです。

- 1日目…各地より東京に集合後、貸切バスで移動し、東京車窓観光。皇居外苑⇒東京タワー⇒お台場。那須ビレッジ到着 参加者で協力して夕食のカレー作り
- 2日目…那須千本松牧場見学。バター作り体験 昼食（ハンバーグ）NOZARU（那須の森の空中アスレチック） 日光東照宮の訪問など。



★★★

箕面ユネスコ協会からは、小学校5年生～中学生7名が参加しました。引率の箕面ユネスコの理事 丸岡朋樹さん・森明ミドリさん、ありがとうございました。

暑さが厳しい中での那須旅行でしたが、帰って来た子どもたちは「楽しかった。また行きたい。他団体の子とたくさん仲良くなった」と笑顔で報告してくれました。体調を大きく崩すことなく、無事故で終わることができました。温かく送り出してくださった保護者の皆様に厚く御礼申し上げます。（坂口 一美）



●2025年度 箕面ユネスコ協会総会を開催しました

5月24日（日）萱野小学校視聴覚室で2025年度総会を開催しました。2024年度の活動を振り返るとともに、25年度への思いを確かに行うことができました。お忙しい中、ご参会くださった、萱野小学校佐藤校長、彦根ユネスコ協会薩摩会長、奈良ユネスコ協会中室会長、日本ユネスコ協会連盟米田顧問、大阪府ユネスコ連絡協議会若林事務局長に感謝申し上げます。

❀新メンバーの今田 剛至さんが議長を務めました❀



5月24日（土）萱野小学校にて開催された2025年度箕面ユネスコ協会総会に”初”参加致しました。当日、私は箕面ユネスコ協会の参加歴2回という新参者にかかわらず議長に指名され、緊張しながらもなんとか終える事が出来ましたが、お役目を果たす事ができたかは心配なところです。2024年度の事業報告では、能登半島震災支援ボランティア活動やU-Smile事業沖縄体験旅行、萱野小学校「はるかのひまわり」活動、グローバルユースフォーラム参加、ネパールボランティアツアー等の報告の他、アサンプション国際小中学校からの寄付金の贈呈式など盛りだくさんな内容でした。箕面ユネスコ協会は、「地域」、「日本」、「海外」とその活動の幅はものすごく広いのだと理解できました。今回報告がなされた以外の活動もたくさんされていると先輩会員の方からも教えていただき、今後どんな活動に参加できるのか楽しみにしています。私は2月まで沖縄で勤務しておりその際に沖縄県ユネスコ協会のお手伝いをしておりましたが、今回箕面ユネスコ協会の総会に参加し感じた事は、各ユネスコ協会によりその活動内容はそれぞれだということです。また、それぞれというのはきっと参加する人にも当てはまり一人一人の想いがあるのだと思うのです。私も縁あって箕面ユネスコ協会に参加させていただく事になりましたが、自分なりのテーマを見つけて活動の幅を広げていきたいと思います。まずは皆さんのお顔と名前を覚える事から始めなければなりません。（今田 剛至）

●ゆるやかなネットワーク ‘ぴあぴあ食堂’

❀新メンバーの桜井祐太さんが初参加❀



7月31日（木）らいとぴあ 21 にて箕面ユネスコメンバーで夏休みのぴあぴあ食堂を行いました。この施設には、子どもたちが気軽に来て遊べる「ぴあぴあルーム」という場があります。長期の休みは、みんなであったかいおいしいご飯を食べる。今回のメニューは“ミステリーうどんバイキング”。ぶっかけの具は自分で選べるようにしました。



❀桜井祐太さんのコメント❀

何かこの社会に貢献できたらと思って…大学時代に教授がちょうど神戸ユネスコの会員だったので、いつもゼミ生を連れてイベント参加とかしていて、箕面ユネスコの名前を覚えました。よろしくお願いします。

おはなしいっぱい

萱野小学校1年生では、読書の楽しさを味わいながら地域のおとなたちとのつながりを感じてほしいと願い、年に4回シリーズで「おはなしいっぱい」の活動に取り組みれます。1回目の7月17日に、保護者の方々、おはなし会、らいとぴあスタッフとともに参加しました。わたしたちはユネスコらしく「平和」をテーマにした絵本（今回は「みどりのトカゲとあかいながしかく」）を読ませて頂きました。（大濱 淳子）

